全学科 平成22年度

土子竹	十成22千度							
科目名	保健・体育 Health and Physical Education			担当教員	有馬弘智			
学 年	5年 学		Education 通年	履修条件		単位数	1	
子 牛 分 野		- <u>期</u> 受業形式		科目番号	火が 10G05 20120	単位区別	 履修	
学習目標	投業が式 実致 村台留ち 10000_20120 早位区が 複修 様々なスポーツの運動理論を理解し、基礎技術を修得する。その種目のルールを把握し、それらのスポーツを 実践できるようにする。また、スポーツテスト等で個人の体力・運動能力を把握し、それらの維持と向上をはかる。							
進め方	それぞれの種目の基礎技術は下級生の時に修得しているので、ゲーム中心の内容で授業を行う。その中で各種目の運動理論をより深く理解し、個人の基礎技術の向上、審判技術のレベル向上を目指す。また、選択制度を取り入れ、自分の興味のある種目を選択させることで、社会体育への継続を目指す。							
学習内容	学習項目 (時間数)				学習到達目標			
	1 . 年間授業の概要説明(1) 【スポーツテスト】 2 . 記録測定(3)			るように 毎年測定	年間計画を説明し,効率的にかつ安全に授業が行なえるようにする。 F2:1 4 毎年測定することにより,自分自身の運動能力を把握し,運動能力の向上を目指す。 F1:1 4			
	[前期中間試験] 【ソフトボール・ゴルフ・ バドミントン選択】 3.選択授業の説明、種目の決定(1) 4.ゲーム(9) 5.実技試験(1)			を選択し 正しいゲ	選択制度を取り入れることで、自分の興味のある種目 を選択し、ルールと理論をより深く理解する。また、 正しいゲームの運営を行い、個人の技術、審判技術の 向上を目指す。 F2:1 4,F3:1 5			
	【サッカー・バス ソフトバ 6.選択授業の説明 7.ゲーム(7) [後期中間試験] 8.ゲーム(6) 9.実技試験(1)	゛レーボー	ル選択】	を選択し	を取り入れるこ 、ルールと理論 ームの運営を行 指す。	をより深く理解 い、個人の技術	解する。また、	
	後期末試験							
評価方法	各種目の実技試験と平常点(出席率、授業態度)で総合評価を行う。							
履修要件	特になし							
関連科目	特になし							
教 材	教科書「アクティブスポーツ」(総合版) 大修館書店							
備考	特になし							